あすなろだより

第17号
平成16年11月15日発行

社会福祉法人　松園福祉会
特別養護老人ホームあすなろ園
家族会
倉敷市玉島勇崎1,044番地
電話　086-528-3110
FAX　086-528-3255
ホームページ　http://www.asunaro.or.jp
E-mail　info-a@asunaro.or.jp

あすなろ園100歳5人組

（平成16年敬老の日に）

「一生感動、一生青春」
人生のラストステージを
いきいきと輝かせる5人

黒髪の美人　渡辺高野様101歳　　しっかり者　石原津留與様100歳
元気で歩かれる　原田好子様100歳　　お風呂大好き　若狭千代恵様102歳　　車椅子ですいすい　藤原佐七様103歳

「心のケア」

社会福祉法人松園福祉会
あすなろ園
理事長　中塚　正人

本年は日本列島を台風が十一回も襲来。しかも超大型台風で、各地に多大の被害をもたらした。

とりわけ玉島地区は、16号、18・21・23号と四度にわたり甚大な被害を蒙った。

特に16号台風は、高齢者の人も「こんな被害はこれまで記憶にない。」と、それほど凄いものであった。

私は倉敷市消防団長として各地に出向いて見たが、一階の障子が四分の三まで水没。また床上浸水の家屋をはじめ、家中へドロがべったりついている所等大変ひどい情況であり、中には十六・十七時間も浸水した家もあった。これらの一日も早い復興を急がねばなりません。又被害を受けた人達の精神的ケアを専門家の先生にぜひお願いしたい。

先般の新潟中越地震で幼い優太君が救出されましたが、心のケアが必要であると言われています。

こうした一連の災害は復興が終わり、普段の精神状態ど生活にもどって復旧されたことになります。

被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

デイサービスだより

大相撲岡山場所を観戦

台風被災者を招待

十月三十一日、岡山ドームで開催された大相撲岡山場所を、デイサービス利用者で台風被害を受けられた方の中から希望者が観戦した。

これは社会福祉法人松園福祉会の片山ゆり子理事の思い入れから、社会福祉法人の社会貢献の一環として行われたもの。

観戦した利用者の一人は「実物の大相撲を見たのは六十年ぶり、テレビで見るより迫力が違う」と感激されていた。

▲大相撲を観戦する利用者

▲見事な土俵入り

自分の作品にうっとり

文化祭に共同作品

十一月三日あすなろ園文化祭では、デイサービスセンターでも華やかに開催された。

特に今年は、作品展に向けて各グループで共同制作した、額絵が見事にできあがり人目を引いた。

また和室では茶席が設けられ、和服姿のボランティアの女性が接待。一きわ華やいだ雰囲気につつまれた。

▶茶席でゆっくり味わう

◀額絵のできばえににっこりする利用者

敬老週間に演芸を楽しむ

九月十三日から一週間デイサービス敬老週間として利用者は、演芸を日替わりで楽しんだ。

今年は歌謡舞踊の寿会をはじめ、カラオケのNAKグループ、大正琴グループが出演。

▲寿会さんの演芸

思い出日記

玉島柏島
斉藤　芳子（88）

今日は絶好の小春日で、楽しみにしていた機能訓練外出日である。迎えの車が来て、園に着くと早速血圧測定。いつもより少し高め。気持ちが少し高ぶっているのかも知れない。

仲間達の顔もみんな明るくいつもとは違って見えた。

まもなく出発。黄色に彩られたイチョウ並木を走り抜け車は一路遥照山へと向かう。車窓に山里の雑木林も赤や黄色に彩られ、柿の色も秋の深まりを感じさせる。

曲がりくねった急坂を登りつめると、眼の前が開けてかんぽの宿に着く。そこで希望者十人ばかりが両面観音に参る。小高い急坂を上ると、一斉に「うわー」と喊声が上がる。目の前の大木が赤く色づき私たちの眼を楽しませてくれる。

北側に回るとイチョウの大木が、はらはらと葉をふるい、地面を黄色く染めていた。

観音堂に手を合わせ、赤い鳥居の前で写真におさまる。

かんぽの宿に入ると、早速食事が運ばれてくる。おいしい料理に舌鼓を打つ。

外に出ると小高い所に天文台があるので上ってみる。見晴らしもよく桜紅葉がきれいである。

下に降りると仲間達も集まり、そこで軽い体操をして、記念写真を撮る。

かんぽの宿を出発すると、下りの道にも真赤に燃えた紅葉に一同喊声をあげながら車は急坂を下り、次の目的地笠岡のスーパーへと進む。ほどなく到着。職員やボランティアの方の先導により、手押車をつかって店内を廻ってみる。とてもとても広いので全部見ることはできないが、久しぶりのショッピングで、必要な品を二、三求めた。

四時過ぎにあすなろ園に到着。今日一日の行事も無事に終わりを告げることができた。

紅葉燃ゆ観音堂に歩を運ぶ
天文に登れば四方は紅葉谷
八十路坂遠く去りゆき秋深む

元気が出ます デイサービス

玉島勇崎
吉田　優（83）

あすなろ園デイサービスセンターにお世話になって、早や満二年餘を迎えます。

週一回の利用日が待ち遠しい位楽しみです。

新しい知人が多くでき、ニュースも多く入り歳を忘れてしまいます。

職員さんもやさしく親切にしてくれます。健康チェックに機能訓練、それに講師による民謡、茶道、造花等和気あいあいの雰囲気でやっています。

入浴でさっぱりした後は、昼食の美味しいこと。全部頂いています。

昭和の激動の時代を生き抜いた我々にとって、現在の豊かな時代は、有難いことです。

それに年三回のバスによる機能訓練外出。普段とじこもりがちの者にとって、雰囲気が変わり、元気が出ます。

心から感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いします。

あすなろ園在宅介護支援センターでは、毎月一回地域の在宅介護者等を対象に介護教室を開催しています。

今年度は、残り五回です。受講無料、どなたでも参加できます。

ご案内　平成16年度家族介護教室／転倒骨折予防教室

日　時	テーマ	講　師
11月28日	言語障害・言葉の障害もなんのその	重井医学研究所付属病院 言語聴覚士　安田洋子氏
12月19日	医療費控除・知っておきたい控除の対象	水島在宅介護支援センター センター長　志賀雅子氏
1月	痴呆ケア・住みなれた地域で暮らしたい	あすなろ園副園長　中塚周一
2月	在宅生活を快適なものに！ ～福祉用具の紹介～	株式会社ニック　浜崎洋子氏
3月	骨密度測定・私の体は大丈夫？	保健師　支援センター職員

あすなろ園広報紙
「あすなろだより」
編集・文責
園長・虫明正雄

入園者と職員が花壇・菜園づくりで喜びを共有

園芸活動

▲種まきや苗を植える入園者

今あすなろ園では、各フロアーごとにベランダや園庭で花や野菜づくりが盛んに行われている。

これは施設に入っても、これまでの家庭の生活を継続していただき、一人ひとりの個性や生活パターンを重要視する取り組みの一つ。

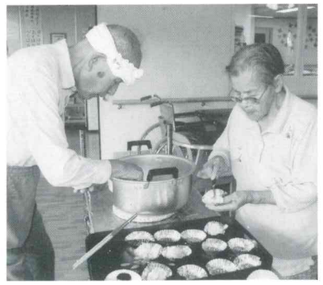
花や野菜の世話をすることによって、残存能力の推持、活用はもちろん、短時間しか離床できない人も、外気に触れ、花や野菜の成長を目にすることによって、季節感を味わい、生きる喜びにつなげている。

中には入園者で、農家の人は、「今日は風が強うなるから支柱をしようや。」とか、「虫がつくから予防せんといけんで。」と職員にアドバイス。園芸によって入園者と職員の一体感が生まれている。

▲「ワーッ」こんな大きなイモができたでー。

採れたての味は格別

とれた野菜や果物は、漬け物やおやつにして味わう。


▲「おやつづくりは任せといて」

入園者の生活発表や職員の研究発表でにぎわう

第13回 創立記念 文化祭盛大に開催される

十一月三日、文化の日に恒例のあすなろ園文化祭が、菊花薫る中盛大に開催された。

この日午前九時から、阿弥陀堂で入園物故者の合同慰霊祭が、安養院森川住職の読経で行われ、遺族など四十人が参列した。

午後二時から、二階ホールで開会行事につづき、職員の研究発表や入園者の手話体操などが行われた。また、特別出演の玉島民謡同好会、若柳静寿恵会様による「民謡お国めぐり」がにぎやかに繰り広げられ、入園者も平素鍛えたのどを披露した。

また、入園者がリハビリの一環として取り組んでいる、書道、華道、川柳、絵なども展示された。

▲晴着姿で民謡クラブの発表をする入園者

喫茶コーナーでは、甘酒、コーヒーなどが用意された。

在宅介護支援センターでは、介護機器、用品の展示や相談コーナーが設けられた。

デイサービスセンターでは、利用者の作品展示や抹茶席が設けられ、和服姿の若い女性ボランティアの接待で、華やいだ雰囲気につつまれた。

約二百五十人の来園者があり、終日にぎわった。

▲玉島民謡同好会・若柳静寿恵会による華やかなステージ

▲合同慰霊祭

敬老祝賀式

たっしゃでご長寿を祝う

九月二十日、第十三回敬老祝賀式が、来賓、関係者多数の出席により盛大に開催された。

入園者にお祝いの記念品が贈られた後、人権学習推進委員会の交流事業、楽団シルバースターの演奏があり、楽しいひとときを過ごした。

▲楽団シルバースターの演奏を見る入園者

毎月第二日曜日は家族面会日

家族会は、毎月一回午前十時から正午まで行っています。園内清掃やふれあい喫茶の賄い、ケアプランの承認等です。多数ご参加下さい。

▲「ふれあい喫茶」をする家族会

あすなろ園 夏まつり開催

良寛ばやしでボッケエデ

八月一日、夏祭りが開催された。今年は台風の影響で雨天になり、急きょ会場は二階ホールになった。

ステージでは、入園者と職員のソーメン早喰い競争や、マジックショー、民謡などが繰り広げられた。

屋台では、家族会やボランティアの応援で、タコ焼き、焼きソバ、ワッフル等が振るまわれた。

最後はやぐら太鼓に合わせ、良寛ばやし、炭坑節の総踊りで幕を閉じた。

▼やぐらを中心に良寛ばやし炭坑節の総踊り

▲会場を埋めつくした入園者や地域の人々

校外学習

あすなろ園で体験して

玉島西中学校一年　太田　楓

先日は体験学習でお世話になり、ありがとうございました。今までの体験学習のように「ここは〇〇です。」と言われるより、北殿さん（副寮母長）のように「ここは、工夫がされているけど、どんなことかな？」と聞かれて、自分たちで工夫されているところを探すほうが、とても理解しやすかったです。

北殿さんは、お年寄りに接する時、困った顔などせず、いつも笑顔でした。それで私は、どんな病気をもっている人を看護しても、人の喜ぶことをすると、相手の心だけでなく自分の心にも、うれしいという気持ちができることを知りました。

私は人助けが好きです。でもこの体験学習をして、なにもかも相手のためにやってあげるだけでは、相手のできることを奪い、そして相手をだめにしてしまうことを知りました。だから相手のことを考えて接していきたいです。

本当にありがとうございました。

秋の外出

秋の行楽と外食を兼ねて、生活実態に合わせてグループで外出した。

明王院と笠岡魚好人一休。遥照山かんぽの宿。吉備路五重の塔とサンロード吉備路。沙美海岸などで気分転換した。

玉島西中学校生徒が介護を体験！

今年も玉島西中学校生徒が総合学習の一環として、職場見学を体験。またチャレンジワーク21の行事で、将来の仕事を見い出す体験でもそれぞれ来園。

生徒は初めて介護施設を見る人もあり緊張していたが、入園者の笑顔に少しづつほぐれ、次第に活発に介護体験をした。

▲真剣な表情で食事介助を体験する生徒

ボランティア紹介

アートフラワー講師

「布の花の会」のみなさん

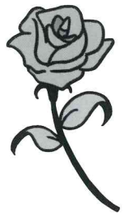
玉島中央町3-10-16

デイサービスセンターでは、機能訓練の一環として、アートフラワーのプログラムを設けている。その指導をして下さっているのが、西れい子先生を代表とする「布の花の会」のメンバー九人です。

あすなろ園では、平成六年八月から始めて十年になる。

「布の花の会」は、すでに二十数年前に発足。各地で毎年作品発表会を開催されています。現在は玉島図書館や公民館など各所で講座を持ち活躍されています。

西れい子先生は、「高齢の方々は、細かい手作業はむずかしいですが、完成された時はご一緒に喜びあっています。」と話されている。これからもよろしくお願いします。



ボランティア

ありがとう（順不同）

平成16年1月1日より平成16年10月31日まで

桑名純朗様　中山玲子様　末吉和子様　みやこ会堀勝様　山様他十六名　竹中和子様　灰佐絵美様　竹本の り子様　原田和子様　水幸敬子様　白神美子様　中村伊久代様　おおね劇団小原明義様他九名　松原久濵様　三上久濵加様　新垣恵美子様　岡山県大正琴様　愛好会佐藤智子様他十名　岡本宣昭様　寿会岡野嘉明様他十名　三宅裕子様　藤澤孝江様　小椋昇様　倉敷栄美寿会　中村栄子様他　十名　黒住教玉島教会様他十名　西山ヒサエ様　西宅裕子様　上野三登里様　歌舞の会坪井　五島西弥生町　美佐子様他十名　踊りの会船曳　水島　高谷良治様　大学弓道部様　川崎医療福祉　三宅富　若柳静寿恵会　ライフパート　西久美子様　三宅公恵様　白神峯子様　四下川和子様他　和カラオケ会　ナーボランティア様　玲子様　中塚敏子様　国富佳子様　小幡好子様　本春正様　良恵様　山本信子様　渡辺　太郎様他十三名　金　楽団シルバー虫明かつえ様　安原佳子様　大橋喜美恵様　原　名　丸　豊子様　宗田　会上野諏訪子様　玉島大師信仰　和子様　